

## ハリオアマツバメ（アマツバメ科） 全長21センチ

### 最速クラスの高速飛行

町内に生息するツバメやイワツバメとは異なり、ずんぐりとした胴体と鎌のような形の長い羽を持ち、高速で飛行する。日本全国で見られる夏鳥であるが、今年も我が家の上空を飛び交う群れが見つかった。上空50メートルほどの高さを20羽以上の群れが交互に飛び交っていた。群れ全体が離れたり近づいたりしながら、やがて遠くに移動して見えなくなった。

過去に5～6回ほど観察しているが、いずれも高速で飛び交うことから、双眼鏡で追いかけるのがやっとの状態である。そして天候は何れも雨上がりの曇り空であった。



体長よりも翼はかなり長い。尾羽は角尾。

2年前、人間をあまり気にすることもなく、私の目の前4～5メートルを高速で横切り「ブ〜ン」という風切り音をだしながら通り過ぎて行った。その迫力は凄まじいものでした。天候と虫の関係で低く飛んでいたのでしょうか。

鳥類最速と言われるハヤブサは、他の鳥を襲うとき上空から重力で加速して急降下するときのスピードが389kmと言われるが、瞬間のスピードである。水平飛行時はそれほど早くなく70～90kmと言われる。ハリオアマツバメは鳥類で最も早く、水平飛行では時速170kmと言われ、長く飛び続ける能力はずば抜けているようだ。体長は21センチだが、羽を広げると50センチにもなる。



空中で飛び交う。



体は砲弾型。

## 眠りながら飛ぶアマツバメ

驚くべき能力は睡眠しながらの飛行ができるということです。繁殖期以外はほとんど飛び続けていると言われ、餌を捕まえる時も、水を飲む時も空中で過ごし、なんと交尾する時も空中で行うと言われている。本当にそんなことが出来るのかと驚くだけである。



背中が白っぽく見えます。



「針尾雨燕」と書くことから、尾羽には針のような硬い羽軸があり、雨空によく現れるようだ。

酪農学園大学、長崎大、慶応大学などの研究チームが、季節により北海道やオーストラリアなどを周回する渡りのルート突き止めることに成功。東アジア、東南アジア、オセアニアを「8」の字を描くように、地球一周分の長い旅をしていたことが分かった。

超長距離移動も驚きだが、高速で飛行しながら休むことなく飛び続ける能力には想像もつきません。こんな凄い鳥類を地元で眺められたことだけでも幸せでした。なかなかアップの写真が撮れず、情けない写真です。